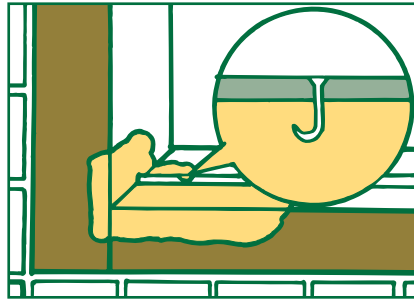
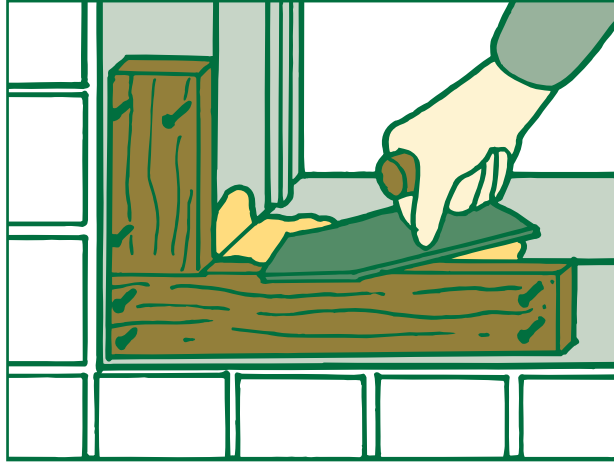


腐り部分が大きい場合

欠けた部分に当て木をします。当て木のクギは後ではずしますので、最後まで打ちこまないで途中で止めておきます。そして速乾セメントを練って流しこみ、コテで平らにならします。敷居に戸のレールがあって、クギの部分にセメントを流しこまなければならないときは、クギの先を曲げてからセメントを流しこみます。これは固まった後にクギが浮き上がってこないようにするためです。



タイル目地の欠け落ち

当社ハウツーペーパーNo.18「タイルの補修」をご覧ください。

浴槽と壁のすき間の水もれ

当社ハウツーペーパーNo.18「タイルの補修」をご覧ください。

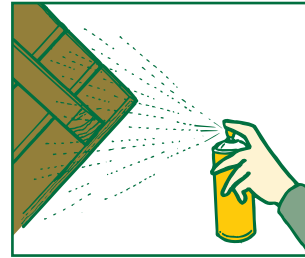


木製のスノコを長持ちさせる方法

1 スノコをクレンザーでよく洗い完全に乾燥させます。



2 住宅用の防水剤(防水一番など)を塗るか、スプレーします。特に木口面(切断面)や脚の部分には念入りに塗りましょう。新品の場合は下ろす前に塗っておきましょう。半年サイクルで塗っていくと長持ちします。



サービスのご案内



配送・ペカン便 切り売り商品 修理



返品・交換 表札、額の受注 スペアキーづくり

●クレジットもご利用になれます。



制作発行 / 株式会社セキチュー 販売促進部
〒370-1201 群馬県高崎市倉賀野町4531-1

TEL.027-345-1111(大代表)

浴室の補修

自分でやってみよう!

セキチュー
HOW TO D.I.Y

34

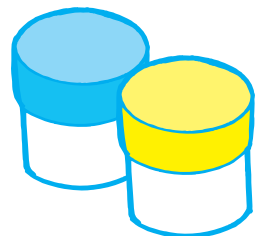


毎日使っている浴室につれてあちこちに修理しなければならぬ部分や場所が出てきます。最初は小さな部分であっても、そのまま放っておくと、浴室そのものをリフォームしなければならないことにもなりかねません。特に水を使う場所ですので、傷みが、早いスピードで進みます。気がついたらすぐ補修する、住まいを長持ちさせる基本は、これです。

Do it Yourself & Save

敷居の腐蝕部分を補修しましょう

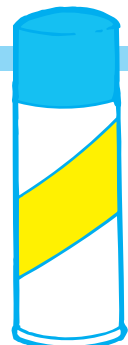
用意するもの



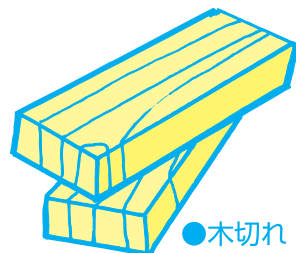
●水中型
エポキシ系
充てん剤



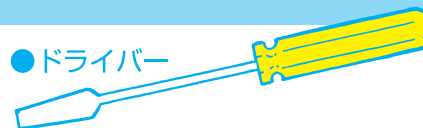
●浴室用塗料



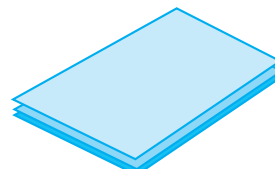
●防水塗料



●木切れ



●ドライバー



●サンドペーパー



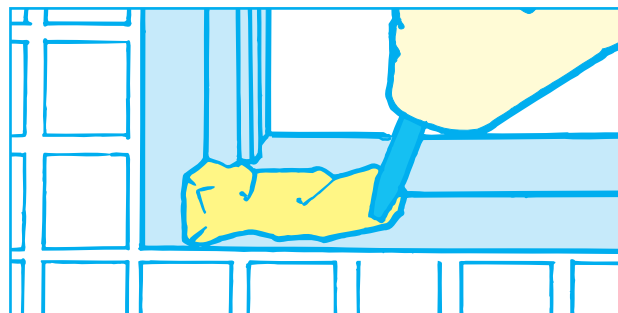
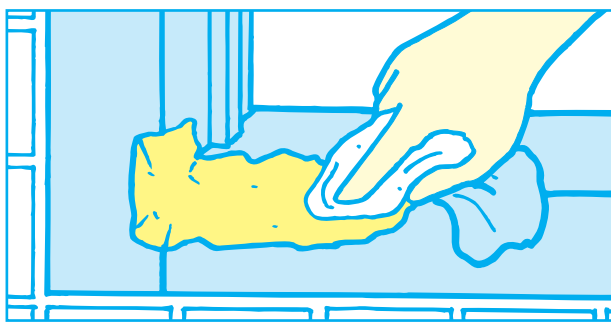
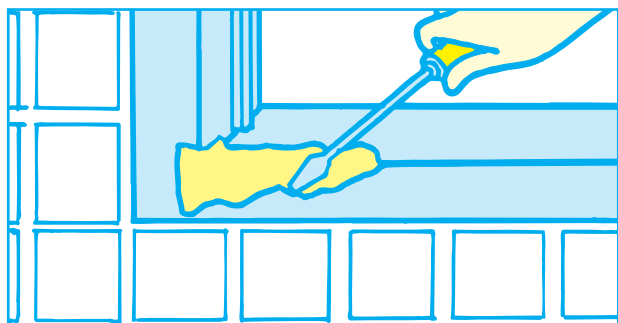
●筋かい刷毛



●ボロ布

1 下準備です。

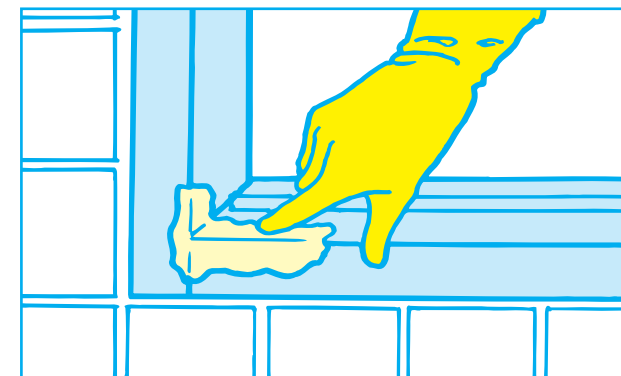
ドライバー等で腐って入る部分をきれいになるまでかき取ります。腐った部分が残っているとそこからまた腐ってきますので、さらにノミで腐っていない部分まで少し木を削ったほうがいいでしょう。さらにボロ布できれいにしたあとはよく乾燥させてください。そして防水剤(防水一番など)を塗っておきましょう。



2 充てん剤を充てんします。

腐り部分が小さい場合

充てん剤(ウッドエポキシ)をよく練り合わせてから、埋めていきます。上の部分は手に水をつけて平らにならします。



※ウッドエポキシは2液に別れていますので、ビニール手袋をした手で同じ量を練り合わせ、指でしっかりと腐蝕した部分に埋めていきます。

※ウッドエポキシは、乾燥後はカンナやカッターで平らに削れます。色はラワン色、白タモ色がありますので、近い方の色を使って下さい。